

12月定例会

市政に関する一般質問

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針等をたずねるものです。12月定例会では、12月13日、14日に一般質問が行われ、通告順に8名の議員が質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し、掲載しました。なお、質問・答弁の詳細は「匠瑳市議会会議録」をご覧ください。

国民健康保険

問 日色昭浩議員（日本共産党）
国保の広域化により市民の負担する国保税について伺う。

答 現行の国民健康保険は、医療水準が高いことなどから被保険者の保険料負担が重く、保険者に小規模団体が多く財政運営が不安定になりがち、という構造的問題を抱えている。この問題を解決するため国民健康保険に

対する公費支援を拡大し、財政基盤の強化を図った上で、財政運営を広域化する

ことにより、財政運営の安定化や保険者間の格差の平準化を目指すものである。広域化による平成30年度の国民健康保険税率については、現状を維持する方針である。なお、千葉県による今回の試算では1人あたりの保険料上昇率が3・2%を超える市町村には激変緩和措置が設けられているが、本市はこの制度に該当しない。

教育・福祉

問 林明敏議員（市民クラブ）
学校・幼稚園・保育園について、統合計画・保育料無償化への取り組みについて伺う。

答 公立幼稚園・保育園の統合計画については、子育て支援対策委員会において、今後のあり方について検討する。保育料の無償化については、国で幼児教育の無償化が検討されている。本市でも

独自の保育料の無償化を行っているが、今後国の動向を注視しながら研究したい。なお、小・中学校の統合計画については、現在のところ検討はしていない。今後の児童生徒数の推移を見ながら、国の学級編制基準による複式学級が2組以上出現することが予想される学校が出たならば、保護者や地区住民の方々の意見等を伺いながら検討したい。

高齢者支援

問 武田光由議員（公明党）
循環バス等の運用と高齢者等の交通弱者について伺う。

答 循環バスの特徴は、誰でも安価な料金で、あらかじめ決められた一定の時間で目的の停留所まで移動できるものである。高齢者にとって不便な点としては、バス停までの移動が大変な方がいることである。市としては、このような循環バスを補助制度として、平成27年度から市内タクシーを活用する地域交通利用料助成事業に取り組んでいる。市内循環バスについては、高齢者だけでなく、誰でも利用できる市内の公共交通として定着しており利用者からはできる限りの運行継続を要望されている。今後も匠瑳市内循環バス利用向上対策委員会の中で御意見をいただきながら利便性の向上に努め、利用促進を図りたい。

環境生活

問 宮内康幸議員（新政会）
循環バスの利便性向上（フリー降車の導入）について伺う。

答 バス停留所以外でも、路線上の任意の位置でおりることができ、いわゆるフリー降車については、人口の少ない山間部やバス優先道路が整備され、安全性が確保された都市部の一部区間で採用されている。採用されている区間は、後続車との接触事故の心配がな

く、頻繁に停車しても、他の交通に悪影響を及ぼさないことが前提となる。また、停車回数が多いと運行時間が不規則になり、目的の地までの所要時間が長くなるというデメリットもある。

フリー降車に限らず、循環バスの利便性向上につながる方策については、引き続き、先進事例を調査研究するとともに、匠瑳市循環バス利用向上対策委員会の中で御意見をいただきながら、より使いやすい運行となるよう努めたい。

環境

問 榎日出男議員（保守の会）
公共機関のトイレの洋式化の取り組みについて伺う。

答 現在、市役所庁舎、野榮総合支所、保健センター、公民館、図書館、市民ふれあいセンター、生涯学習センター、福祉センター、八日市場ドーム、のさかアアリーナ、勤労青少年ホーム、吉崎浜野外活動施設では既に洋式トイレを設置している。

施設全体の設置状況では、便器196カ所のうち78カ所を洋式化しており、設置率としては約40%となっている。今後、トイレの洋式化を推進していきたい。教育施設においては、今年度公立幼稚園のトイレ全てが洋式化された。小・中学校については、平成30年度に八日市場小、栄小、野田小の3校において改修工事を実施し、平成33年度までに全ての学校のトイレを洋式化する計画でいる。

教育

問 田村明美議員（日本共産党）
サタデースクールの平成29年度の実施状況・平成30年度の実施計画について伺う。

答 サタデースクールの増設、コーディネーター、講師、指導者の増員について伺う。

答 平成29年度は八日市場小学校、野田小学校、栄小学校の3校を会場として、年間30回の実施に向け開設を実施している。土曜日の午前中の時間を利用し、市内全ての小学校から140名の児童が参加し、コーディネーター3名、講師4名、指導員18名の計25名の体制で国語と算数の学習を進めている。平成30年度においても、市内3会場で開催している。2月をめどに各小学校を通じて参加希望者を募り、事業の円滑な実施に向けて、順次計画を進めたい。

一般質問の質問項目

- 宮内 康幸 議員
 - 選挙の投票率向上について
 - 農業の高齢化問題について
 - 空き家対策について
 - 高齢化社会に対応したまちづくりについて
- 日色 昭浩 議員
 - 国保の広域化について
 - 保育料の無料化事業について
 - 学校給食費の減免について
- 林 明敏 議員
 - 財政について
 - 市税について
 - 国保税について
 - 学校・幼稚園・保育園について
 - 広域ごみ処理について
 - 台風被害について
- 都祭 広一 議員
 - 市民の生活圏内における当市での道路管理について
 - 童謡・唱歌の教育での活用について
 - まち創りのための当市の海岸の活用について
 - 地域包括ケアシステム構築に伴う介護人材の確保について
 - 国民保護法に伴う国民保護計画の具体的な運用について
- 榎 日出男 議員
 - 防犯カメラの導入について
 - 公共機関のトイレ洋式化について
- 武田 光由 議員
 - 教育現場へのエアコン設置について
 - 学校のプールについて
 - 通学路点検について
 - 教育弱者対策について
 - 文化財保護について
 - 土壌汚染について
- 田村 明美 議員
 - 防火・防災体制について
 - 公正な選挙執行について
 - 教育問題について
 - 特別支援教育の推進について
 - 循環バス等の運用について
- 田村 明美 議員
 - 小高地区の再生土埋立てについて
 - 銚子・旭・匠瑳の共同ごみ処理事業計画について
 - 市民の生命・健康を守る地域医療の拠点病院をつくる構想計画について
 - 第7期市高齢者福祉計画・介護保険事業計画について
 - 認定こども園について
 - 市の道路・排水路の修繕改修について
 - 市サタデースクールの実施について
- 菊谷 進一 議員
 - 市民病院について
 - 広域ごみ処理施設について
 - 中学生の高校入試の支援について

ールのニーズは高まっており、参加人数の増加にあわせ、指導する職員の増員をしてきたが、増設については来年度の参加希望者の状況を把握し、予算や指導者の確保などにより、本事業の積極的な推進を図れるよう検討したい。

ここ数年、サタデースク